

○計画期間:令和6年4月～令和11年3月(5年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市は、令和6年3月26日に第3期目となる中心市街地活性化基本計画の認定を受け、「魅力あふれ、選ばれ、沖縄を牽引するまち」をテーマに「歴史文化やまちの個性、人々を魅了するエンターテインメントの力を活かしたにぎわいづくり」、「地域・住民・来訪者にとって快適で良好なまちづくり」の2つの基本方針のもとに同計画に掲げる55事業に取り組んだ。

都市福利施設の年間利用者数については、前年度と比較し増加し順調に推移している。観光関連施設及び歩行者通行量については、減少しているものの、基準値は上回っているため、引き続き関連事業との連携を進めていく。特に、沖縄サントリーアリーナは琉球ゴールデンキングスのホームタウンとしてスポーツ興行イベントや様々なアーティストによる音楽イベント等により、本市のランドマークとなっており、沖縄こどもの国においてもリニューアルが進められ、国内外から集客数を増やし、中心市街地の賑わい創出に大きく寄与している。

基本計画は3年目となり、各事業においても概ね順調に継続しているものの、観光施設等からの街なかへの誘客及び中心市街地の回遊（歩行者通行量）については、引き続き状況を注視し、改善に向け取り組んでいく必要がある。

2. 令和7年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

沖縄市中心市街地活性化協議会を開催し、基本計画の進捗状況の確認や各種の取組みについて確認し、意見交換を実施した。

第3期沖縄市中心市街地活性化基本計画（以下、「第3期基本計画」という。）の2年目となる令和7年度は、新たな動きとしてパークアベニューの相互通行工事がスタートしたことについて意見があった。

始まったばかりの事業ではあるものの、街に見える形の変化が伺え、今後人の流れがどのように変わっていくのか期待される取り組みである。

第3期基本計画は、地域が主体的に取り組めるよう、今後も行政や関係団体等と相互に連携を図りながら、総合的に中心市街地の活性化を推進していく。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
拠点施設や地域資源の魅力を活かしたにぎわい創出	①観光関連施設の年間入込客数	918,192 人 (令和4年)	1,653,300 人 (令和10年)	1,281,542 人(令和7年)	B	A	A
	②歩行者通行量(休日)	5,486 人/日 (令和4年)	6,864 人/日 (令和10年)	5,532 人/日(令和7年)	B	A	A
安全・安心・快適に過ごせる環境整備	①都市福利施設の年間利用者	555,594 人 (令和4年)	1,100,408 人 (令和10年)	991,838 人 (令和7年)	B	A	A

< 基準値からの改善状況（※1） >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類（※2） >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A：目標達成が見込まれる

B：目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C：目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況（※1） >」、< 目標達成に関する見通しの分類（※2） >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。（例：a、b、c）

2. 目標達成見通しの理由

①目標指標「観光関連施設の年間入込客数」及び「歩行者通行量（休日）」について

・「観光関連施設の年間入込客数」

関連する各事業は概ね順調に進捗しており、特に沖縄こどもの国については、獣舎の改修・建設等施設拡充も進んでいる。引き続き事業を継続することで、目標達成に向け更に前進すると考えられる。

・「歩行者通行量（休日）」

関連する各事業は概ね順調に進捗しており、計画期間の前半であることや基準値は上回っていること、上記記載のとおり、沖縄こどもの国の事業の影響も想定されることから、引き続き事業を継続することで、目標達成に向け更に前進すると考えられる。

②目標指標「都市福利施設の年間利用者」について

・当該目標の達成を図るための各事業の実施により、中心市街地の拠点施設や地域資源の魅力を活かしたにぎわいを創出したことで、現時点で基準値を上回っている。

コザ運動公園において、沖縄全島エイサーまつり、沖縄市産業まつりなどのイベント開催など多くの方に足を運んで頂き、実績値も前年度と比較し増加していることから、目標達成に向け、順調に推移していると考えられる。

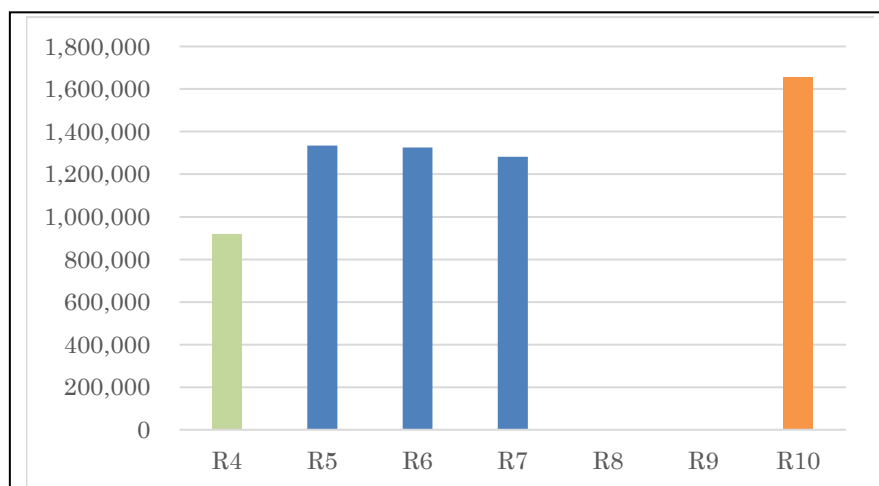
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由 無し

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「観光関連施設の年間入込客数」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 80～P. 81 参照

●調査結果と分析



年	(人)
R4	918,192 (基準年値)
R5	1,334,681
R6	1,325,692
R7	1,281,542
R8	-
R9	-
R10	1,653,300 (目標値)

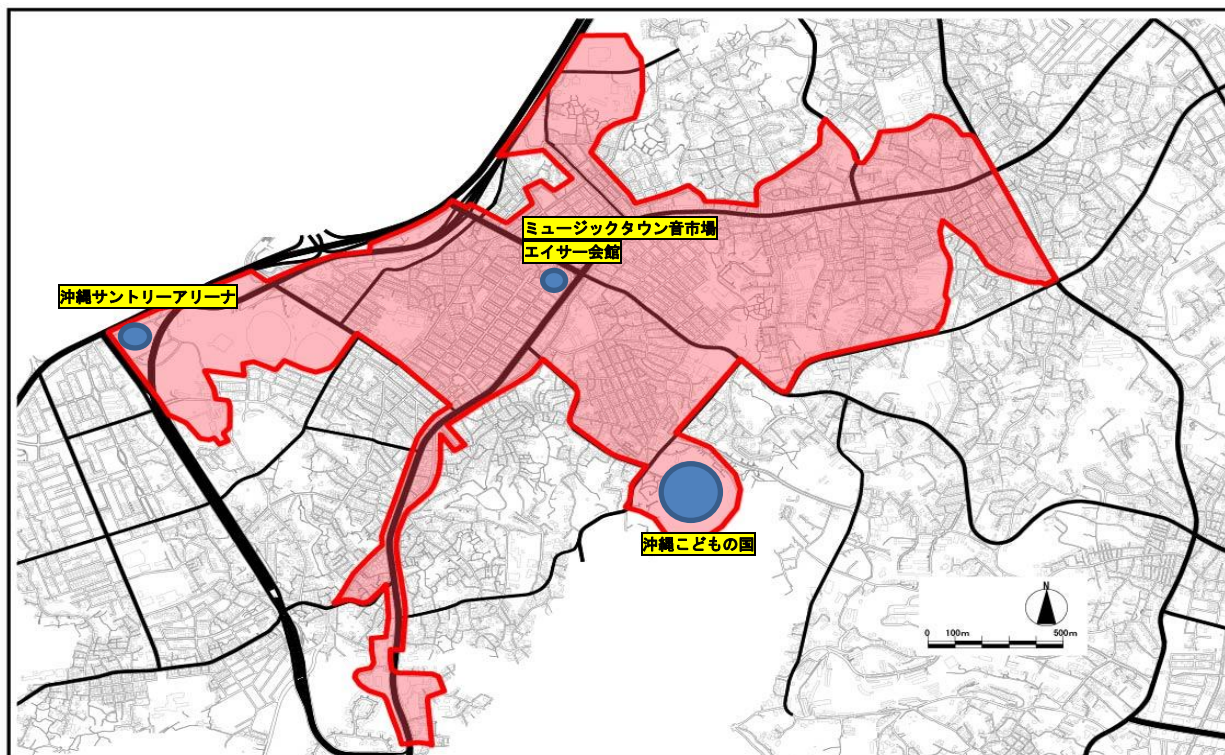
※調査方法：各施設からの報告による実績値合計

※調査月：毎年4月に取りまとめ

※調査主体：沖縄市

※調査対象：中心市街地内の観光関連施設（4施設）

【調査地点図】



〈分析内容〉

観光関連施設の年間入込増加に向けた各事業については概ね予定どおり進捗している。最新の施設全体の入込客数は、基準値を上回っているが、前年度と比べ若干下回っている。沖縄サントリーアリーナでのスポーツイベント等や、沖縄こどもの国の施設拡充や夜の動物園の開園、15歳以下入場無料等、今後も目標達成に向け取り組む。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. エイサー会館事業

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
事業概要	エイサー会館における沖縄全島エイサーまつりや青年会（エイサー団体）等の企画展やイベントの実施、市民・県民・観光客を対象としたエイサー講座等の企画・制作・実施等。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和6年4月～令和11年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	目標値：35,000人 最新値：24,174人 エイサー会館については、エイサー情報の発信やイベント等の実施。
事業の今後について	継続して、エイサー情報の発信やイベント等を実施しながら、目標達成に向け、取り組んでいく。

②. 音楽によるまちづくり推進事業

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地における、ロックやジャズ、民謡等の音楽をテーマとし 屋内外のイベントの開催に係る費用の一部助成
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月
事業目標値・最新 値及び進捗状況	目標値：130,300 人 最新値：69,840 人 ロックや民謡、ジャズ等本市の魅力的な音楽文化をテーマに、多く の人々を集客するイベントを開催する。
事業の今後につ いて	継続して、イベント等を実施しながら、目標達成に向け、取り組ん でいく。

③. 沖縄こどもの国整備事業

事業実施期間	平成 28 年度～【実施中】
事業概要	沖縄こどもの国の動物舎等の整備・拡充
国の支援措置名 及び支援期間	沖縄振興特別推進市町村交付金、沖縄振興特定事業推進費市町村補 助金 平成 28 年度～
事業目標値・最新 値及び進捗状況	目標値：950,000 人 最新値：709,808 人 リニューアル整備が進められている沖縄こどもの国では、魅力的な 動物の導入および既存獣舎の改修に取り組み、更なる入場者の増加 が期待できる。
事業の今後につ いて	整備拡充等が進むことで、さらなる入場者数が見込める。 また、夜間動物園開園など、県内唯一の動物園として継続して取り 組む。

④. 沖縄アリーナ整備・修繕等事業（※現：沖縄サントリーアリーナ）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	沖縄アリーナの設備・備品の整備や修繕等
国の支援措置名 及び支援期間	—
事業目標値・最新 値及び進捗状況	目標値：538,000 人 最新値：477,720 人 令和 5 年度には FIBA バスケットワールド杯を開催し、プロバスケット ボールチーム琉球ゴールデンキングスのホームアリーナとしてス ポーツ興行等での来場者数も順調に推移している。
事業の今後につ いて	今後も施設の魅力や機能を存分に発揮し、プロスポーツ興行、著名 なアーティストのコンサート等、入込客数を増加させる。

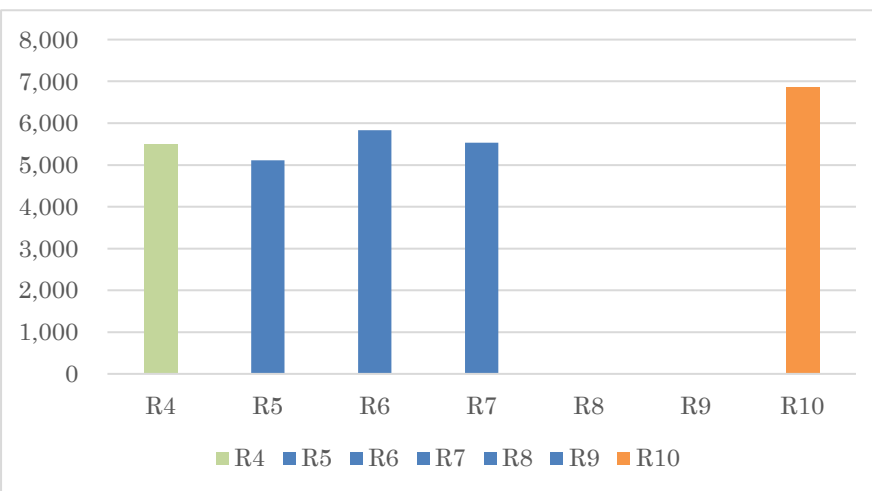
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、今後も、主要事業や他イベント等のソフト事業と連携し集客実績を伸ばすことで、目標達成に向け取り組む。

(2)「歩行者通行量（休日）」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 82～P. 85 参照

●調査結果と分析



年	(人/日)
R4	5,486 (基準年値)
R5	5,110
R6	5,830
R7	5,532
R8	—
R9	—
R10	6,864 (目標値)

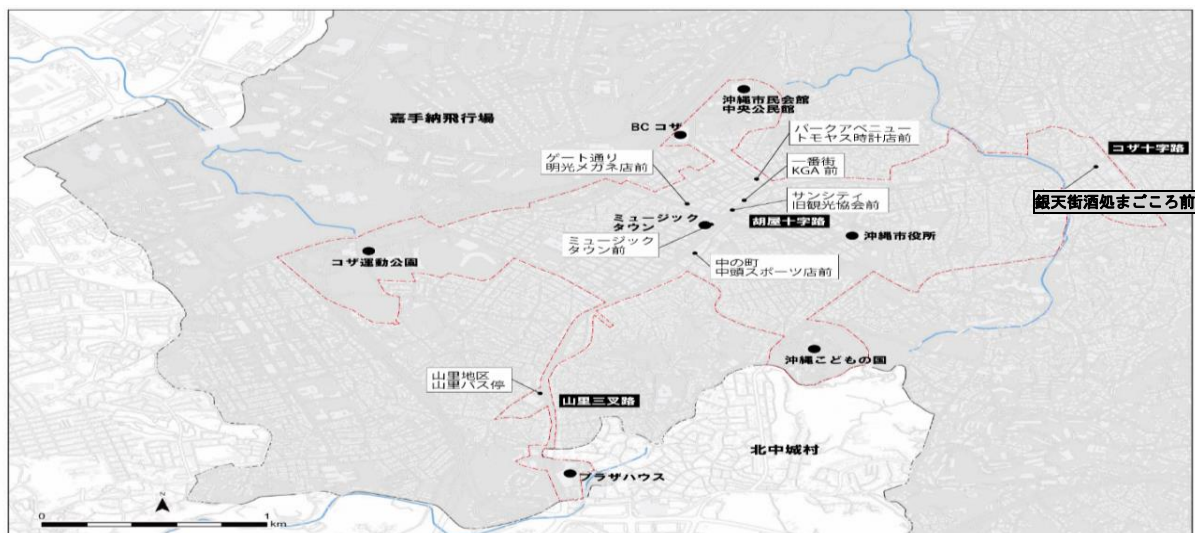
※調査方法：歩行者通行量調査

※調査月：毎年6月調査

※調査主体：沖縄商工会議所

※調査対象：8調査地点の歩行者及び自転車

【調査地点図】



〈分析内容〉

歩行者通行量（休日）の増加に向けた各事業については概ね予定どおり進捗しているが、最新の歩行者数は、基準値は上回っているものの、前年度と比べ減少している。引き続き、各施設や周辺でのイベントなどと連携し、通行量の増加を図っていく。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. エイサー会館事業（沖縄市）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
事業概要	エイサー会館における沖縄全島エイサーまつりや青年会（エイサー団体）等の企画展や限定イベントの実施、市民・県民・観光客を対象としたエイサー講座等の企画・制作・実施等。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月
事業目標値・最新値及び進捗状況	目標値：35,000 人 最新値：24,174 人 エイサー会館では、エイサー情報の発信やイベント等の実施。
事業の今後について	継続して、エイサー情報の発信やイベント等を実施しながら、目標達成に向け、取り組んでいく。

②. 音楽によるまちづくり推進事業（沖縄市）

事業実施期間	平成 27 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地における、ロックやジャズ、民謡等の音楽をテーマとし屋内外のイベントの開催に係る費用の一部助成
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月
事業目標値・最新	目標値：130,300 人

値及び進捗状況	最新値：69,840 人 ロックや民謡、ジャズ等本市の魅力的な音楽文化をテーマに、多くの人々を集客するイベントを開催する。
事業の今後について	継続して、イベント等を実施しながら、目標達成に向け、取り組んでいく。

③. 沖縄こどもの国整備事業（沖縄市）

事業実施期間	平成28年度～【実施中】
事業概要	沖縄こどもの国の動物舎等の整備・拡充
国の支援措置名及び支援期間	沖縄振興特別推進市長村交付金、沖縄振興特定事業推進費市町村補助金 平成28年度～
事業目標値・最新値及び進捗状況	目標値：950,000 人 最新値：709,808 人 リニューアル整備が進められている沖縄こどもの国では、魅力的な動物の導入および既存獣舎の改修に取り組み、更なる入場者の増加が期待できる。
事業の今後について	整備拡充等が進むことで、さらなる入場者数が見込める。 また、夜間動物園開園など、県内唯一の動物園として継続して取り組む。

④. 沖縄アリーナ整備・修繕等事業（※現：沖縄サントリーアリーナ）（沖縄市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	沖縄アリーナの設備・備品の整備や修繕等
国の支援措置名及び支援期間	—
事業目標値・最新値及び進捗状況	目標値：538,000 人 最新値：477,720 人 令和5年度にはFIBAバスケットワールド杯を開催し、プロバスケットボールチーム琉球ゴールデンキングスのホームアリーナとしてスポーツ興行等での来場者数も順調に推移している。
事業の今後について	今後も施設の魅力や機能を存分に発揮し、プロスポーツ興行、著名なアーティストのコンサート等、入込客を増加させる。

⑤ 沖縄全島エイサーまつり（沖縄市）

事業実施期間	昭和49年度～【実施中】
事業概要	伝統芸能エイサーを主体としたイベントの開催に係る費用の一部助成
国の支援措置名	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）

及び支援期間	令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月
事業目標値・最新値及び進捗状況	最新値：380,000 人（R7 年度来場者数） 沖縄県内最大のエイサーイベント「沖縄全島エイサーまつり」をコザ運動公園及びコザゲート通りで開催し、県内外から誘客を図ること、歩行者通行量の増加に寄与する。
事業の今後について	継続して、沖縄全島エイサーまつりを実施しながら、目標達成に向け、取り組んでいく。

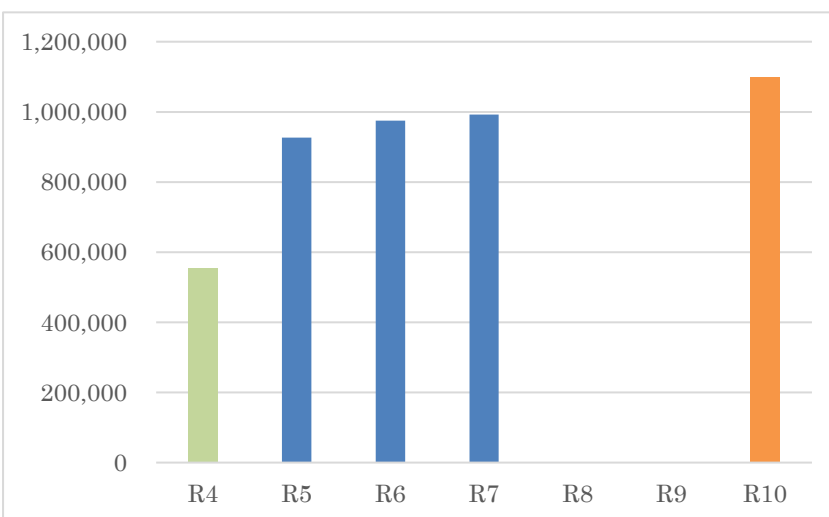
●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、今後も、主要事業や商店街等が行うイベント等のソフト事業と連携し歩行者数や、集客実績を伸ばすことで、目標達成に向け取り組む。

（３）「都市福利施設の年間利用者数」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 86～P. 87 参照

●調査結果と分析



年	(人)
R4	555,594 (基準年値)
R5	926,229
R6	975,351
R7	991,838
R8	-
R9	-
R10	1,100,408 (目標値)

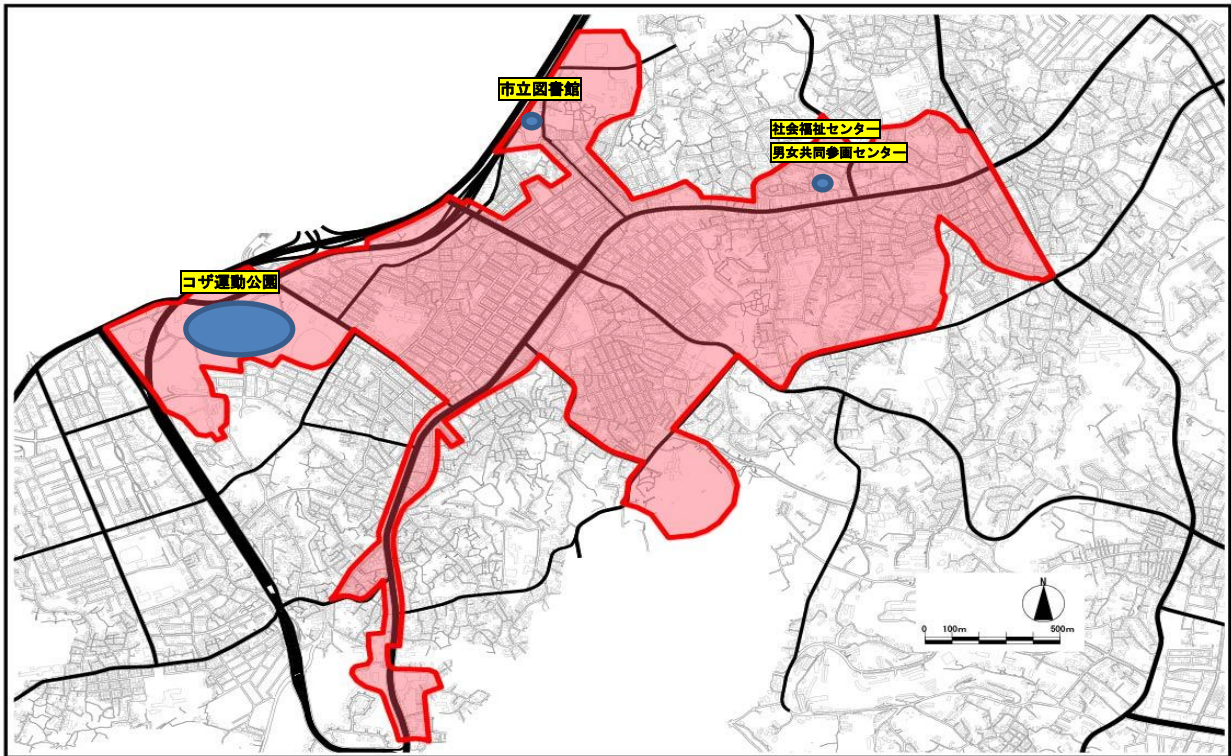
※調査方法：各施設からの報告による実績値合計

※調査月：毎年 4 月に取りまとめ

※調査主体： 沖縄市

※調査対象： 中心市街地内の都市福利施設（4 施設）

【調査地点図】



〈分析内容〉

都市福利施設の年間利用者数の増加に向けた各事業については概ね予定どおり進捗している。最新の利用者数は、基準値、前年度と比べ上回っている。各施設や周辺でのイベントなどと連携したことで利用者数の増加となっている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 男女共同参画センター事業（男女共同参画講座）

事業実施期間	平成24年度～【実施中】
事業概要	男女共同参画社会の実現に向けた講座の開催
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【社会福祉センター】 目標値：32,134人 最新値：24,613人 【男女共同参画センター】 目標値：4,910人 最新値：4,147人

	男女の自立及び社会参加チャレンジを支援する講座を開催することで施設利用者を増加させる。
事業の今後について	継続して、男女の自立及び社会参加チャレンジを支援する講座を開催することで施設利用者を増加させる。

②. 沖縄市産業まつり

事業実施期間	昭和 52 年度～【実施中】
事業概要	特産品等をテーマにしたイベントの開催に係る費用の一部助成
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和 6 年 4 月～令和 11 年 3 月
事業目標値・最新値及び進捗状況	最新値：76,000 人（R7 年度来場者数） 沖縄市の特産品をはじめ、国際色豊かな食事、農産物など市内の産品を一堂に会する「沖縄市産業まつり」をコザ運動公園で開催し、県内外から誘客を図る。
事業の今後について	継続して沖縄市産業まつりを実施しながら、目標達成に向け取り組んでいく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、今後も、主要事業や商店街等が行うイベント等のソフト事業と連携し歩行者数や、誘客実績を伸ばすことで、目標達成は可能と考える。

また、コザ運動公園利用者の施設利用者が R6（768,565 人）から R7（778,843 人）へ約 10,000 人増加しており、さらに第 2 期計画で整備した沖縄市立図書館の利用者数も R6（183,733 人）から R7（184,235 人）へ増加しており、継続して各事業等と連携し目標達成に向け取り組む。